

津屋崎千軒の風情を

守り育てるために

まちなみガイドラインを策定しました

古くから漁業や塩田で栄えた名残を数多く残している津屋崎千軒。

市は、この景観を維持・保全し、良好なまちなみを形成することを目的に、

「津屋崎千軒まちなみガイドライン」を策定しました。

公募した市民20人と津屋崎千軒を調査研究している九州大学、市が一緒に

なつて平成23年度から2年間検討してきました。このたび「津屋崎千軒ま

ちなみガイドライン」がまとまりましたので、概要を報告します。



②壁面線をそろえる

3階部分の壁面を後退させて連続性を作りましょう



④外構をしつらえる

建物の壁が途切れるとき、柵を作ると壁面線がつながります



⑥伝統的な空間を生かす

スアイ・ヒイヤからの景色は津屋崎の魅力的な風景です
※スアイ・ヒイヤ:1m程の生活道



⑧広告物や看板はひと工夫する

津屋崎千軒のまちなみに合う看板にしましょう

⑨お店はまちなみと調和する

新しいお店を作るときは、土間・トコ・バンコを使うと津屋崎らしい空間になります

津屋崎千軒まちなみガイドラインより抜粋

①高さをそろえる

2階建てが続くまちなみの中で街のシンボルは目立つことができます



③デザインを工夫する

平入りの勾配屋根が続くと統一感が生まれます



⑤小物に気づかう

トコ・バンコで交流が活性化します
※トコ・バンコ:畳一帖くらいの縁台のようなもの



⑦色をそろえる

津屋崎千軒のイメージカラーである藍色が津屋崎のまちなみにまとまりを作ります



まちなみガイドラインの位置づけ

津屋崎千軒まちなみガイドラインは、許可・届出の必要のない建築行為などにあっても、景観形成への協力を呼び掛け、市民や事業者の皆さんに自主的に活用していただくことを意図しています。 問い合わせ 市都市計画課(津屋崎庁舎) ☎52・4956